

加賀市の概要



加賀市は石川県の西南部に位置し、小松市と福井県に隣接しています。16.5kmに及ぶ美しい海岸線は越前加賀国定公園に指定されています。小松市と福井県の境界にある大日山（標高1,368m）に源を発する大聖寺川・動橋川が日本海に注ぎ、それぞれの流域に開けた森や水に恵まれた地域です。

「加賀温泉郷」と言われる山代温泉、山中温泉、片山津温泉の個性豊かな3つの温泉地には多くの観光客が訪れ、疲れを癒し、ゆったりとした時間を提供しています。

九谷焼・山中漆器などの伝統工芸の発祥の地であり、今でも伝統的な技術で、魅力的な作品を生み出しています。日本遺産に登録されている北前船や、城下町の面影が残る大聖寺など、歴史が感じられます。

ぶどうや梨などの果物が多く生産されているほか、ふくよかな味わいと香りが特徴の地酒や冬にはズワイガニや「香箱ガニ」と呼ばれる雌のズワイガニなど、おいしい食べ物にも恵まれています。



企業版ふるさと納税プロジェクト

加賀市まち・ひと・しごと総合戦略推進計画

1. 加賀市に仕事をつくり、安定した雇用を創出し、これを支える人材を育て活かす事業

- (1) 「産業振興行動計画」の推進
- (2) 「観光戦略プラン」の推進
- (3) 就職・就労に結びつく雇用対策の推進



2. 加賀市への新しい人の流れをつくる事業

- (1) 市内への人と資金の還流の促進
- (2) 移住・定住・交流の促進



3. 若い世代の出産・子育ての希望をかなえるとともに誰もが活躍できる地域社会をつくる

- (1) 子どもを産み育てる環境のさらなる充実
- (2) 魅力的で特色ある地域教育の推進
- (3) 誰もが活躍できる共生社会の推進



4. 時代に見合った地域をつくり、安心な暮らしを支える

- (1) 便利かつ快適で持続可能な地域の創出
- (2) 人口減少・高齢化に対応した定住環境の整備
- (3) 質の高い医療・福祉環境の確保



令和6年能登半島地震復興・復旧事業

令和6年1月に発生した令和6年能登半島地震により、加賀市内においても道路や家屋等への被害が発生しております。この状況を受け、市では、災害復旧・復興のための「企業版ふるさと納税」の寄附受付を開始することとしました。

企業の皆さまの温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

詳細はこちら



加賀市プロジェクト事例

Project1. 学校教育ビジョン推進事業



子どもの「今」も「未来」も幸せにwell-beingを実現する学びの改革を行います。

スローガンとして“Be the Player”を掲げた学校教育ビジョンを策定し、「自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える」子どもたちの育成に向けて、2023年4月に新体制を始動しました。

【well-beingを実現する学びの改革】

1. 学びを変える
2. 誰一人取り残さない
3. 未来は自分で創る
4. 地域と一緒に

加賀市では、記載以外にもスマートシティをめざし都市圏の企業と官民連携でさまざまな取り組みを進めています。寄附をきっかけに、新たな事業への取り組みも考えられます。実証実験も大歓迎。企業PRのお手伝いもさせていただきます。未来に向け、ともに新たなパートナーシップを構築できることを楽しみにしております。

Project 2. かがっこ応援プロジェクト

1. 「創造性を育む」先進的保育・教育

子どもが主体的に活動し、それぞれの豊かな感性や創造性を育む保育・教育を行います。

2. 「経済支援」養育コストの軽減

妊娠・出産時の関連用品の購入や子育て支援サービス等の利用負担軽減を図る経済的支援を実施します。

3. 「脱・孤育て」出産前からの伴走型支援

出産前から、不安や心配事をお聞きし、寄り添いながら妊娠や出産をサポートします。

Project 3. 人材育成イベント等誘致事業

加賀市では、イノベーションセンターやコンピュータクラブハウスなど、将来を担う人材育成の拠点整備を行ってきました。今後は、今までに培った技術や経験を存分に発揮できるようなイベントを開催することで、地域間・業種間・世代間交流を促進し、市内におけるさらなる人材育成を図ります。

【これまでの主な人材育成関連イベント】

- ・ロボレーブ国際大会
- ・起業家育成プログラム

